

(様式 2)

「第 2 期桐生市教育大綱行政案」に対する意見提出手続の結果

- 1 意見の募集期間 令和 2 年 9 月 1 日 (火) ～令和 2 年 9 月 30 日 (水)
- 2 意見の提出者数 2 人 (直接 1 人、電子メール 1 人)
- 3 意見の件数 2 件
- 4 担当部課 教育部総務課教育未来室
電話 (0277) 46 - 1111 (内線 686)
ファクシミリ (0277) 46 - 1109
電子メール kyoiku@city.kiryu.lg.jp

5 提出された意見の要旨と考慮の結果

(1) 学校教育の充実についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果 (意見に対する市の考え方)
1	<p>桐生市の人口増を図るためにも、充実した教育を実施することは大変有意義なことと考えます。若い家庭の人達に桐生で子育てをしたいと思って頂くには、教育費の面から考えるだけでなく、内容、質が高いことの充実がより魅力的で必要なことと思います。</p> <p>「学校教育の充実について」</p> <p>○体力作り</p> <ul style="list-style-type: none">・ 静岡のある小学校で、毎朝なわとびをしています。体力向上に大変有効なようです。一人一人目標を決めて励むようにしたら良いと思います。・ 朝掃除の励行：雑巾がけをすることが体力作りにもなり、さっぱりした感覚がつかめてきれいにする心地よさを知ることにつながると思います。又、雑巾を絞るという動作も握力の向上につながります。さっぱりした教室で授業を始めると勉強にも身が入るし、気持ちさがっぱりして、いじめも減るのではと思います。	<p>教育大綱は、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものとされており。</p> <p>いただいたご意見は、学校教育の充実を図るための具体的な施策や取組に関するものですので、今後の参考とさせていただきます。</p>

<p>○心を耕す(体験を中心とした学び)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作業のお手伝いに定期的に行く。 ・高齢者、障がいのある方達との交流の時を定期的持つ。 ・川の清掃、街の草むしりやゴミ拾いなど地域のために働く。このことは郷土を愛する心を育むことにもつながると思います。 ・アジアの国の生活を学ぶ。: 桐生にも外国の子供達がたくさん在住しています。いじめの対象にその子供達になるのは無理解と無知があるから。相手の立場に立つことを学ぶ機会にもして欲しいです。 <p>* 1回きりで終わらせるのではなく定期的に継続することで、本物の体験へと深められ子供達の心の肥やしになると思います。</p> <p>○学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習字やそろばんなど基礎的な勉強にもっと力を入れて欲しいと思います。集中力もつき計算が速くなるので勉学の基本的な力が身につきます。 ・災害の多い時代になりました。防災や避難生活などへの対応能力がこれからの人達には必須になります。命を守るための学習が是非必要だと思います。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数担任制の充実 ・専門の先生の配置(体育、音楽、美術、英語、IT) …担任との連携取りつつ ・教職員の事務仕事の削減: 教育に集中できるように先生にゆとりを持たせて欲しい。 	
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・午後にお昼タイムを15分くらい取ると午後の集中力がアップし効率が上がるそうです。実践できたらいいなと思います。 ・校舎の中に、こども園、高齢者施設など異年齢の施設を併設できないでしょうか。核家族化、兄弟姉妹が少ない環境の中に多くの子供達はおります。人間教育という観点から縦の人間模様の中で学ぶことは幅広い視野と感覚を持った心豊かな子どもに育つと思います。 <p>作業をたくさんすることは心と体と頭を使います。その中で助けたり助けられたり我慢したりすることで思いやりと責任感のある人間が育つと思います。他の地域では実施していないカリキュラムでも恐れず全国に先駆けて発信して行って欲しいと思います。優しくたくましい桐生っ子が未来に育って欲しいと願うものです。</p>	
--	---	--

(2) その他の意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
1	<p>この大綱を見させていただきとても素晴らしい物だとおもいました。桐生で、育った私も子供たちも桐生の事は大好きです。それは、やはり自然がたくさんあり町の人々もとても温かいので、とっても癒されるからではないでしょうか？そんな自然の中から学べる事は沢山あります。子供たちが自然と触れ合う場所が少なくなる中自然の宝庫でこれからの子供たちにはとっても刺激の多い町だとおもいます。</p>	<p>教育大綱の策定に当たり、国の教育振興基本計画を参酌するとともに、市の最上位計画である桐生市第六次総合計画との整合を図り、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱としています。</p> <p>ご意見をいただいた「いのちの教育」については、大変重要であると考えており、本大綱においては、基本方針(1)「学校教育の充実」の「桐生ならではの特色ある教育の充実」や「成長過程に応じた学習内容の充実」をはじめ、基本方針(3)「青少年健全育成の推進」の「青少年教育の充実」、基本</p>

<p>桐生市第六次総合計画の基本構想では、「将来都市像」を「感性育み 未来織りなす 粋なまち桐生」、「まちづくりの基本テーマ(理念)」を「“感性”を育む人づくり」「“つながり”を生かしたまちづくり」としていますが、高齢化社会が桐生市は、群馬県内の市の中ではいち早く訪れるので、世代間の交流は、とても重要になってくるとおもいます。高齢者の経験を子供たちにつたえる。また、子供たちは、その中で歳を重ねることの素晴らしさと現実の厳しさを学ぶいい機会になるとおもいます。</p> <p>本大綱の施策の方向性「教育・文化の向上」の6つの分野別施策のうち「青少年健全育成の推進」「生涯学習の推進」の中に当てはまるのでしょうか？是非「いのちの教育」を入れていただけたらとおもいます。</p> <p>私自身も五年程前にガンによる全身脱毛体験をして、いろいろなことを学び群馬県がんピアサポーターとして、活動させて頂いています。その中で、小中高校において、子供たちのまえで、がんと寄り添い前向きに生きていく姿を発表するというプログラムがあります。コロナで、がんサロン等も中断していますが、いのちの教育をすることで、様々なところに優しさと思いやりが育まれ上から目線ではなく「共育」(共に育つ)という考え方が広がるとおもいます。</p> <p>例えば、高齢者とともに農作業をしたときに子供たちが、人や作物に対する優しさ大切さを感じる事ができ、将来的に多様性の社会において</p>	<p>方針(4)「生涯学習の推進」の「社会教育の充実」や「学校・地域との連携の推進」などに関連する具体的な施策や事業の中で取り組むことを想定しております。</p> <p>様々な分野の施策を通じて、多角的に「いのちの教育」に取り組むことにより、ご意見の趣旨を反映できるものと考えております。</p>
---	--

<p>差別や偏見がなくなりとてもいい循環になるとおもいます。</p> <p>桐生市を築いてきた高齢者に対する感謝の気持ちが、がんということだけではなく、動物、自然、環境など、ありとあらゆるものを愛する教育ができれば争いはなくなりますし安心した生活が遅れるのではないのでしょうか？</p> <p>「社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する」「生涯学び、活躍できる環境を整えることにつながる」とおもいます。</p> <p>新しいことのように感じますがどのことにもつながる事だとも思います。</p>	
--	--